

登録コード	ASG03600	開講年度	2026				
授業科目	食料機能解析学特別演習Ⅱ					担当教員	真壁 秀文
英文授業名	Advanced Seminar for Food Functional AnalysisⅡ					副担当	瀧渦 康範・中村 浩藏・筒井 歩・河村 篤
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	修士2年生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026ASカリ，2025ASカリ，2024ASカリ，2023ASカリ						
	【専攻】生命科学，食品科学，食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					⇔	生命科学，食品科学，食料生産および環境の保全と修復などの分野のうち，食品分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。
授業の概要	ゼミ形式で各自の発表を行い、質疑応答・討議する。 特別演習Ⅰの内容をさらに深化させ，各自の特別研究の背景、目的、方法等を欧文の参考文献を活用して理解し、研究計画を立案するとともに、研究方法、結果をまとめ、各自の研究を遂行する。必要に応じて関連する論文を検索し、結果および考察をまとめる。研究の進捗状況、結果及び考察、以降の研究計画等をまとめ、発表・質疑応答を通じて様々な研究方法を理解するとともに、課題を捉え、解決する筋道の立て方等を習得する。						
Contents:	This seminar includes a training program for understanding scientific research procedure through reading and translation of scientific papers that deals with chemicals and functionalities of food materials. Training for presentation at scientific research congress etc. is also included.						
授業計画	第1回：研究課題の設定・立案 第2回：課題に関する学術情報検索（SciFinder，Web of Science） 第3回：特別研究に関する情報検索・収集 第4回：研究背景の調査 第5回：実験方法の習得（定量法） 第6回：実験方法の習得（抽出・分離法） 第7回：実験方法の習得（合成法） 第8回：機器分析法の習得（質量分析法） 第9回：機器分析法の習得（核磁気共鳴分光法） 第10回：研究結果に関する演習 第11回：要旨・発表資料の作成 第12回：研究発表（1） 第13回：研究発表（2） 第14回：論文作成 第15回：研究の総括						
成績評価の方法	演習に対する取り組み，作成資料およびプレゼンテーションを総合して判断します。 評価基準：卓越している：90～100点，かなり上にある：80～89点，やや上にある：70～79点，合格水準にある：60～69点，不可：59点以下 作成資料およびプレゼンテーションに関しては以下の点を考慮します。 (i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 (i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。						
成績評価の基準	特別研究を遂行し，目的，方法，結果の解析，結果に対する考察ができていれば，「水準にある」，課題に対して資料の準備とわかりやすい発表がなされていれば「やや上にある」，与えられた課題に対して十分に調査し，発表ができ，質問に対して適切に解答できていれば「かなり上にある～卓越している」と評価します。 実験課題に関する文献を読み，その内容を資料にまとめることができれば，「水準にある」，要約の準備とわかりやすい発表がなされていれば「やや上にある」，論文の内容を理解し，説明ができ，質問に対して適切に解答できていれば「かなり上にある～卓越している」と評価します。						
事前事後学習の内容	1回の講義に対して十分な事前の自主学習を行い，論文の内容を理解しておくこと。						
履修上の注意	質疑応答には積極的に参加してください。						
質問,相談への対応	随時受け付けます。						
学生へのメッセージ	積極的に取り組んでください。						
【教科書】	特に指定しませんが，必要に応じて資料を配布します。						
【参考書】	各自の研究テーマに関連した資料を活用してください。						